

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-2-1  
売れる農林水産品・加工品づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 農村整備課長 廣川 正英 電話番号 0852-22-5176

事務事業の名称	ほ場整備事業	
目的	(1) 対象	担い手農家等
	(2) 意図	担い手農家等の経営農用地面積を拡大させるため農地利用集積を促進するとともに、生産コストの削減や収益性の高い農業経営を実現する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業競争力強化基盤整備事業【生産基盤整備】担い手へ作業効率の良い農業生産基盤を提供するため、担い手等の経営規模を拡大する計画のある地区に対して、有利な国庫補助事業を利用して農業生産基盤を整備する</li> <li>県営中山間地域総合整備事業【生産基盤整備】中山間地域の持続的発展のため、整備要望のある条件不利地域の農業生産基盤に対して、有利な国庫補助事業を利用して整備する</li> <li>農業競争力強化基盤整備事業【農地集積促進】基盤整備事業費負担を軽減するため、生産基盤整備を実施する担い手農家等に対して、有利な国庫補助事業を利用して促進費を交付する</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	ほ場整備面積	目標値	86.0	142.0	208.0	274.0	ha
	式・定義	計画期間中に実施する経営体育成基盤整備事業及び中山間地域総合整備事業実施地区での累計	取組目標値					
			実績値	47.7	108.8	162.3		
			達成率	-	126.6	114.3	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	2,935,059	4,448,672
うち一般財源(千円)	110,277	172,972

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ほ場整備を162.3ha実施し、目標値を大きく上回った。
- 平成29年度末時点で県内の営農法人の約7割がほ場整備事業を契機に設立された
- ほ場整備事業により優良な農業担い手に農地の集積をすすめ、農業生産費及び農業労働時間とも6割程度削減された地区もある。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

- 成果参考指標としている平成29年度末の目標値を約20haを上回る約162haのほ場整備を実施したことにより、優良な農業担い手へのより一層の農地集積が進み、生産コスト縮減が図られ農業収益が向上した。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

- 目標は上回ったが、地域からの整備要望すべてに答えられていない。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 米政策の見直し等に伴い、地域の農業生産基盤整備に対する機運が高まり整備要望が増加しているが、要望に応えるために必要な予算が不足している

### ③原因を解消するための「課題」

- 関係機関と調整し、事業管理を図りつつ、地域の要望に応えるための必要な予算の確保が課題

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 関係機関と協議・調整を図り、事業の実施時期、実施規模等を検討
- 県が取り組む水田における園芸振興や国土強靱化対策等の推進を図るため、様々な機会を利用し、国に対して地域が必要とする予算の安定的確保を要望
- 事業実施のために必要な県予算を確保するための手法を検討
- 国予算の伸びが期待できる他事業の活用の検討